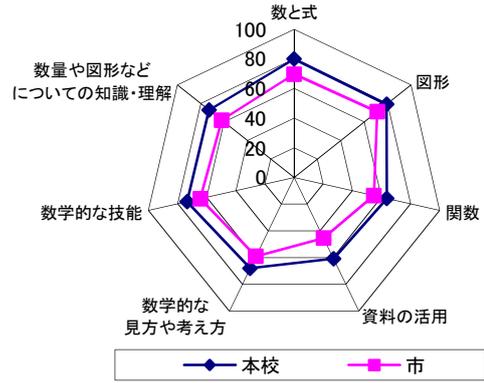


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と式	79.9	69.7
	図形	79.2	71.2
	関数	63.6	54.7
	資料の活用	60.9	45.4
観点別	数学的な見方や考え方	68.1	59.1
	数学的な技能	73.5	64.4
	数量や図形などについての知識・理解	72.9	62.1



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	この領域の平均正答率は、宇都宮市の平均と比較して10.2ポイント上回る結果であった。「文字式の加法・減法」、「文字式の乗法」の計算問題では88%以上の正答率であり、「連立方程式の計算」においても80%以上の生徒が正答しており、十分に理解している生徒が多い。宇都宮市と比べると、「連立方程式の立式」の問題では7.2ポイント上回っている。	この領域の授業では、チームティーチングで個別指導を丁寧に行ったため、基礎基本の定着を図ることができた。しかし、「文字式の除法の計算」においては、正答率が市の平均と変わらず64.4%であり、除法に関して理解していない生徒がやや多く見られるため、今後も式の値の求め方や連立方程式の解き方に不安のある生徒については、個別指導を継続していきたい。
図形	この領域の平均正答率は、宇都宮市の平均と比較して8.0ポイント上回る結果であった。角度を求める問題では、90%以上の正答率であり、十分に理解している生徒が多い。	図形の合同では、図形の定義や定理を定着させることが大切であり、3年生の相似につながる内容でもあるので、授業の中で折に触れ復習していくよう心掛ける。図形の証明問題では、習熟に個人差が見られるため、穴埋めから全記述へと段階を追って指導していくとともに、チームティーチングや習熟度別学習を効果的に取り入れ、基礎基本の定着を図っていきたい。
関数	この領域の平均正答率は、宇都宮市の平均と比較して8.9ポイント上回る結果であった。与えられた式から傾きや切片を求める問題やグラフを書く問題では90%以上の正答率であり、基本的な内容に関しては十分に理解している生徒が多い。全体的に市の平均を上回ってはいるが、「比例の利用」に関しては、正答率が30～40%台と低い数値を示している。	この領域に関しては苦手意識を持っている生徒が多い。関数への苦手意識を解消するため、身の回りにおける関数に関わる事例を、適宜教材に取り入れる工夫をしていきたい。また、式・表・グラフが頭の中でリンクするよう、いろいろなパターンを提示して丁寧に指導していく。さらに、3年生で学習する「2乗に比例する関数」や、関数と図形の複合問題にも対応できる力を育てていきたい。
資料の活用	この領域の平均正答率は、宇都宮市の平均と比較して15.5ポイント上回る結果であったが、正答率は50～60%と低い数値であり、基礎・基本の定着がやや不十分である生徒が多い。	資料の散らばりや代表値に関する理解が不十分であるようなので、既習内容をよく復習し、資料の見方や用語の意味などの基本的な内容の定着を図っていきたい。